



「花」で川から街を豊かに ～隅田川の花守さん～



花守さんによる花壇(本所一丁目町会)

■隅田川と隅田川テラス
東京の東部を流れる隅田川は、北区、足立区、荒川区、墨田区、台東区、中央区、江東区の7区を流下し東京湾に注ぐ、流路延長23・5kmの1級河川です。

その両岸には隅田川テラス(以下、テラス)が整備され、都会の貴重なオープンスペースとして地域の住民や沿川企業に勤める方々に利用されています。通常時のテラスは遊歩道のように利用でき、点在する花壇等の植栽が利用者の目を楽させています。

(公財)東京都公園協会(以下、公園協会)では、テラスのハード面での維持管理を行う一方で、水辺の利活用に向けたソフト部分を担う公益事業を行っています。今回はその中から、花守さん支援事業について御紹介します。

■「花守さん」の活動

花守さんとは、テラスの花壇管理をボランティアで行う団体のことで、隅田川に架かる言問橋から勝鬃橋までの範囲に、計21団体が活動しています。花守さんの団体は、地域の町会や園芸愛好家グループ、また、福祉施設や幼稚園、保育園、沿川企業など多岐にわたり、自分達のできる範囲で日常的な花壇管理を行っています。

テラスにある花壇の花植えは、春季(5月)と秋季(11月)の年2回行われ、公園協会は花守さんが選んだ品種の花苗を提供します。花植え当日は、公園協会職員から花守さん向けに、花の品種や花植えのコツ等の説明を行ったのち、協働で花植えを行います。

花植え後は、週に数回の花がら摘みや灌水を行うほか、花壇周辺の清掃等、テラスの美化に努めていただいています。花守さんは文字どおり、隅田川で咲く可憐な花を見守る、テラスには不可欠な存在です。

■墨田区内の「花守さん」

墨田区内で最初の花守団体は、平成19年から活動を始めています。現在は6団体に増え、上流側から「本所一丁目町会」(平成21年)、「NPO法人トッピングイースト」(平成30年)、

「盛寿会」(平成20年)、「横綱町会」(平成19年)、「墨田区障害者団体連合会(のぞみの家)」(平成19年)、「両国一丁目町会」(平成19年)の皆様に活動いただいております。カバーする範囲は、厩橋から両国橋までの区間になります。その辺りで目を引く花壇には、区内の花守さんが丹精込めて育てている花が年間を通じて咲き誇っています。

■川と街をつなぐ親善大使

花守さんが活動する原動力の一つに、テラス利用者からかけられる「いつもきれいにしてくれてありがとう」などの感謝の言葉があるそうです。そのような経験から花守さんは、テラス利用者を楽しませる花壇にするにはどうしたらよいか、という点に留意しながら花壇づくりをされています。

また、「隅田川も街の一部だから、やっぱりきれいにしないとね」と、テラスを街の一部として捉え



花植えの様子(NPO法人トッピングイースト)

て活動している方もいらっしゃいます。隅田川を街の資産と考え、気持ち良い空間を演出する花守さん。花守さんはまさに、川と街をつなぐ、親善大使のような役割も担っています。

現在は、蔵前橋上下流の左岸で工事が始まっており、3団体の活動は休止中ですが、工事が終わり次第、また復帰していただく予定です。

■今後の「花守さん」に期待

来年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催予定です。隅田川の畔にある国技館でもボクシング競技が行われます。そんな大会に向け、テラスを盛り上げ、隅田川の美しさを世界に発信する期待が寄せられる区内の花守さんに、公園協会としても、敬意を込めて大きなエールを送りたいと思います!

春以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあつて、テラスの利用者は増加しています。ウォーキングやランニングをされる方はぜひ、地域の地道な活動を続ける花守さんを思い出しながら花壇を眺め、テラスでの時間を満喫していただければと思います。

(公益財団法人東京都公園協会
水辺事業部調整課
水辺公益係長 渡邊 陽)

生まれ変わった 隅田公園



隅田公園・北十間川・東武鉄道写真
(上：再整備前 下：再整備後)

■現在に至るまでの

隅田公園の歴史

隅田公園は、とても歴史ある公園です。隅田公園整備以前から現在に至るまでの大まかな歩みは、次のとおりです。

- ①江戸時代には、水戸徳川家の下屋敷（別邸）として利用されてきました。
- ②明治時代には、水戸徳川家の本邸（小梅邸）として利用されるようになりましたが、大正12年の関東大震災により焼失してしまいました。
- ③その後、政府による帝都復興事業の一環で、小梅邸の跡地が公園として整備され、昭和6年に東京市（現在の東京都）管理の隅田公園が開園しました。

④第二次世界大戦下の、昭和20

年3月10日の東京大空襲時には、周辺地域は壊滅的な被害を受け、亡くなられた多くの方々が隅田公園に仮埋葬されました。

- ⑤昭和33～41年の間には、東京都による終戦後の公園復旧整備及び隅田公園防波堤工事が行われ、さらに、昭和46年には、首都高速道路が隅田公園を縦断する形で完成しました。
- ⑥昭和50年には、東京都から墨田区へ隅田公園の管理が移管され、昭和52・53年には「墨田区制施行30周年記念事業」として、隅田公園大規模改修が行われました。
- ⑦昭和52・53年の公園大規模改修後40年以上が経過し、この度、平成30年度・令和元年度の2か年で再整備を行いました。

■隅田公園を再整備するに

至った経緯

前回の公園大規模改修から40年以上が経過し、公園施設の老朽化、密集した樹木による視界不良等についての意見が多数寄せられ、公園管理の課題となっていました。



再整備後の隅田公園平面図

■隅田公園再整備の特色

今回の再整備では、「歴史継承」と「恒常的な賑わい創出」をコンセプトとしています。

まず、歴史継承の観点から、明治天皇御製碑周辺の整備、隅田公園歴史解説サインの設置、昭和6年の隅田公園開園当初から設置されている石材の再利用による当時公園形態の一部再現等を行いました。

次に、恒常的な賑わい創出の観点から、舗装広場、芝生広場等を整備し、さらには、老朽化したトイレを、外壁に姉妹都市である栃木県鹿沼市の鹿沼産木材を使用した、公園に溶け込むデザインの大規模なものに改築しました。

加えて、「北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業」による一体的な整備とするため、北十間川テラス整備、東武鉄道高架下整備及び東武鉄道北側道路整備における舗装材、照明灯等の色合いや形状と合わせた整備を行いました。

ぜひ一度、生まれ変わった隅田公園にお越しください。

(都市整備課)

